

- | | | | | | | | |
|--|----------------|--|-------|--|-----|--|-----------|
| | 国道 | | JR線 | | 区役所 | | 一般病院・医院 |
| | その他の道路 | | 私鉄線 | | 学校 | | 東京災害拠点病院 |
| | 首都高速 | | 地下鉄線 | | 郵便局 | | 救急指定病院 |
| | 旧中山道 | | 都・県境界 | | 警察 | | 広域避難場所 |
| | 旧街道ルート | | 区境 | | 消防署 | | 帰宅困難者支援施設 |
| | 0.0km 日本橋からの距離 | | 公園・緑地 | | 官公署 | | 給水所／応急給水槽 |
| | | | コンビニ | | 寺院 | | 神社 |
| | | | ホテル | | トイレ | | 銭湯 |

10 染井霊園

江戸中期以降、染井（現在の豊島区駒込）には植木職人が多く、さしずめ「江戸の園芸センター」という雰囲気であった。ソメイヨシノ（染井吉野）のルーツもこの辺りである。江戸末期から明治期、染井の植木屋が吉野桜の名で全国に売り出し、のちに染井吉野と名づけたという。




6 白山神社

天曆2年（948）、加賀一の宮（石川県）白山神社を勧請したのが始まりといわれる。祭神の菊理姫命（くりひめのみこと）は縁結びの神として崇められている。6月には、社殿裏の染山に紫陽（あじさい）が咲き乱れる。




9 高岩寺（とげぬき地蔵）

明治24年（1891）、「とげぬき地蔵」高岩寺が上野からこの地に移ってきた。以来、中山道の道筋は参詣客でにぎわい、門前町となった。「おばあちゃん」の異名通り、参道沿いには八目鰻や金太郎飴のほか、健康食品やメリヤスの肌着などの高齢者向け商品が並んでいる。「とげぬき」は、外からのとげだけでなく、人間の持つ罪科（とが）も抜く地蔵尊として信仰されている。写真にあるのは洗い観音像。



11 滝野川の種屋

旧中山道沿いに今も残る種屋である。この辺りは良質のタネがとれたため、街道を往来する人々に商いをする大小の種屋が軒をつらね「種屋街道」と呼ばれるまでになった。ニンジン、大根、ゴボウなどの評判が高く、なかでもニンジンは滝野川人参と呼ばれ、もてはやされた。



8 六義園

元禄8年（1695）、柳沢吉保が、5代将軍綱から拝領した地に下屋敷を置き、そこに庭造った。御殿を六義館、庭園を六義園とした。中国の『詩経』にある六義（りくぎ）からつけられている。回遊式築山泉水庭園で、元禄時代のおおらかな気風を反映した江戸大名庭園の代表的なものだ。

